

高野谷焼窯跡



川之江町高野谷

川之江小学校の運動場の東側、一段高くなった藪の中に高野谷焼（こやんたにやき）窯跡の石碑が建っている。

高野谷焼は、天保年間（一説には文久元年）に三好半兵衛が備前より陶工と土を取り寄せ、窯を築いたことに始まる。安政の頃、谷友吉が高野谷焼を受け継ぎ、各種の日常雑器を焼成し、地元や大阪に製品取引を行っていた。明治中ごろになり、廃窯となる。